



令和2年10月22日

第 62 号

さく

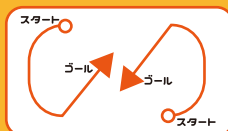
ほ

2020⑩

議会だより

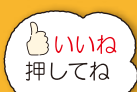


佐久穂小学校運動会 女子パシュートリレー



発行：佐久穂町議会
議長：高橋 康徳
編集：議会広報編集調査特別委員会
〒384-0697
長野県南佐久郡
佐久穂町大字高野町569
TEL.0267-86-2556
印刷：キクハラインク有限公司

さくほ議会
Facebookもチェック
さくほ議会



9月定例会

がんばろう佐久穂

応援チケット事業……………P2・3

子どもにもわかりやすい さくほのお金…P10・11

連載

議会改革特別委員会…………… P4

一般質問

・奨学金の返済に補助を
・新庁舎開庁にあたり今後の姿勢は 他…P4～9

令和2年第5回（9月3日～9月17日）

9月定例議会

町長招集
あいさつアラカルト情報

8月30日の日曜日に全町で防災訓練を実施し、28.5%の町民が参加した。

災害発生に備え、避難所行動要支援者の情報が共有できる条例を提出した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため敬老訪問を中止にし、お祝いを郵送にて行った。

8月14日穴原花火大会が行われ、10分間75発の花火があがった。

11月3日に台風19号災害の復興を目的として、被害にあった千曲沿線の市町村による花火大会を予定している。

6月定例会で採択された一ノ淵橋付近のかさ上げ工事について、佐久建設事務所へ要望行動を行った。

7月3日、満蒙開拓の歴史を学びつつ阿智村の満蒙開拓平和祈念館でボランティアをしている松川高校ボランティア部が来庁。義援金15万円をいただいた。

NTT東日本と災害時の相互連携協定締結をすすめている。

防災行政無線の内容が電話86-0051・86-0052で確認できるようになった。

これまでの議会の議事録を御覧になりたい方は、右のQRコードを読みとるか、佐久穂町ホームページまで
<https://www.town.sakuho.nagano.jp>



千曲病院で 新型コロナウイルス 抗原定量検査の準備すすむ

町民の健康管理や人権保護のため
**検査費用の
一部助成実施！**

PCR検査と抗原定量検査って？



ニュースで1番よく聞くPCR検査。簡単に言うとウイルスを増やして調べる方法なの。だから機材も高価なうえ、時間もかかる方法なのよ。今回、千曲病院が取り入れる検査は抗原検査。ウイルスに感染した細胞が生み出す抗原の特徴に焦点をあてたものなの。これだと検査結果が1時間以内ぐらいにできるから、お手軽よ。しかも鼻の奥にズボ！って入れる方法ではなく、口から唾液をとるタイプだからズボ！が苦手な人も安心ね。



千曲病院

国からの補助金 新型コロナウイルス感染症対応



第2次交付

地方創生臨時交付金 2億9232万円

その一部を活用して、

他にも、
避難所整備
ICT教育拡充に活用

がんばろう佐久穂応援チケット事業

5000円で7500円分



販売：令和2年10月24日～令和3年1月29日
利用期間：令和2年11月1日～令和3年2月28日

販売 総額2億2千万円
1人2万円（販売価格）まで

生活支援者へ給付
7500円分 2冊
総額7500万円

非課税世帯の人
子ども・大学生の扶養者 など

詳細については健康福祉課へ
お問い合わせください

令和2年第4回（7月28日）

7月臨時議会

スクールバスの購入

858万円

6台あるうちの平成16年
購入の1台を買い替え

佐久穂小中学校

タブレット購入
7535万円

タブレット772台
充電保管庫27台

新しい委員会になり、「議会活性化部会」「開かれた議会部会」の総括を行い、それをもとに、やり残したこと、これから協議していかなければならないことを議論しました。

主な意見では、「タブレット議会」と「コロナ対策」でした。

「タブレット議会」は議会のICT化への取り組みとして、平成29年度から「議会改革特別委員会」において議論を実施してきました。

議会の機能強化、情報伝達の迅速化、ペーパーレス化などを図るため、タブレット型端末を活用した文書共有システムを導入することは概ね了承されていました。

7月、議会ICT化を目指し議会改革特別委員会の下部組織として「ICT推進部会」を7名体制で発足、タブレット端末導入にあたって確認事項等について協議していくこととなりました。

早速、9月定例会から「タブレット議会」の試行開始としてのPCやタブレット端末持ち込みが許可になり、大半の議員がノートパソコン等を持ち込み試行されました。



今後は、タブレット端末に不慣れな議員には議員同士の教え合いを通して全議員が操作を習得していかなければならないと思います。

これは、紙資料のペーパーレス化や情報共有のスピード化、会議運営の効率化などを図ることがねらいです。

9・12・3月の定例会では紙資料と併用しながら会議を実施し、近い将来には完全「タブレット議会」になることを目標にするものです。



「タブレット議会」によるペーパーレス（環境対策）も重要ですが、我々議員が最も考えなければならぬのは、タブレット端末による効果をどうやって町民の皆様に還元するかということです。

いま全国の地方議会では、住民の皆さんに「議会のしくみ」や「議会の働き」を知っていただき、身近な政治の舞台へ関心を持っていただくだけでなく、住民の皆さんと共にまちづくりに参加できるような議会をめざした取り組みが行われています。

今後も、町民の皆様の声を生かした住みよいまちづくりをめざして取り組んでまいります。



町長 様々な情報から検討・判断し方針を決定します。

高見澤 研二

ポストコロナ時代新たなまちづくりの指針は

問 昨年の台風災害に加え、新型コロナウイルスを経験したことで、今後のまちづくりの指針を根底から大きく変え、新たな「当たり前・普通・標準」を探っていかなければならない状況にある。

国からもポストコロナ時代の新たな日常の実現などの方針が示されている。佐久穂町でも新たな基準によるまちづくりを進めていくことになると思う。

町内の様々なコミュニティ活動では、コロナ禍の影響で、新しい生活習慣・ソーシャルディスタンスをどのように取り入れたらいいのか試行錯誤している現状があり、活動の停滞も見られる。

町としての指針を、「不要・不急」との関連でどの様に判断するのか。

町長 様々な情報から何がより適切かを判断し、方針を決定していかなければなりません。現在は、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るという観点から、感染防止策をしっかりと講じながら、活動レベルを引き上げていく段階にあると考えております。

問 大規模災害時における、避難所設置の指針と方向性、避難の要請と自己責任との関係、復旧・被災者支援の在り方について、町の基本的な考えは。



問 新たなまちづくりの推進に関して、町議会と執行側の戦略推進本部の関係の見直しはあるのか。

町長 地方自治の二元代表制の本旨を踏まえ、当面は現行の方式を継続することになります。

町長 避難所設置の指針と方向性は、新型コロナウイルス感染症防止を考えた避難が必要となります。県は感染防止対策を「県避難所運営マニュアル策定指針」に盛り込み、5月下旬に改定し市町村に通知しました。県の指針に基づき感染防止対策を図り、安全な避難所運営を行っていきます。

避難の要請は、災害の状況や避難時の安全性を考慮しながら、空振りをおそれることなく発令したいと考えています。自己責任の関係では災害発生時は、公助・共助・自助の全ての力が発揮されなければなりません。自助が困難な「避難行動要支援者」にはその支援の方法として、今議会に「避難行動要支援者名簿に関する条例」を上程しました。

状況や被害規模により制度の適用等は異なりますが、住民が少しでも早く以前の生活に戻るよう、取り組みを進めます。

人口減少対策の今後の方向性は



町長 住み慣れた地域で安心して暮らせる施策や住んでみたい町を視野に考えています。

出浦 修身

問 第一期コミュニティ創生戦略の評価は高いが、人口減少は続いている。今後の人口減少対策の方向性は。

町長 15歳から49歳の女性人口が減少しており、人口減少は避けられません。これからは住み慣れた地域で安心して暮らせる施策と、住んでみたいまちを視野に入れる必要があると考えています。

問 人口減少の要因は3つで、働く場所の不足、移住者や子育て世代向けの住宅不足そして、町の魅力・賑わい不足で、これを小さくすることが必要では。

総合政策課長 仕事や学校卒業者の受け皿はなかなか難しく、先ずは関係人口の創出から事業展開して行きます。

問 働く場所では時代の流れをとらえ、コワーキングオフィスの創設なども検討しては。

総合政策課長 高野町で前の地域づくり協力隊員がコワーキングスペースを開設したので、その動向も見えています。

問 居住環境不足について、移住希望者や結婚子女のニーズを充足していますか。

総合政策課長 充分提供できていませんが、空き家対策や掘り起こし主体に進めていきたいと思っています。

問 若い人たちで、職場が佐久市で、遊んだりおしゃべりする場も佐久市だと、よほどのことがなければ、佐久穂に住んでくれません。こうした環境を中心市街

地で整備する必要があると思います。



庁舎周辺の航空写真

この写真は、役場を中心とした半径100m程度の地域で、空き地や、農地不耕作農地、空き家が散在している。この地域に宅地造成し、中心市街地を整備しつつ住宅ニーズに対応する考えは。

総合政策課長 民間主体で取組んでいたければ、町として側面的協力に取り組めます。また調査はしますが、国県の補助事業としての実施は難しい面が多いようです。

問 空き家対策では、家財の整理・清掃補助や改修補助の強化が必要では。

総合政策課長 現在の対策が完璧と言いつてはないが、検討させて下さい。

意見 コミュニティ提案型まち活性化事業の集落部門補助制度を強化し、地域の課題解決に向けた、まちづくり協議の促進の検討をお願いします。

郷土資料館は必要ではないか

小宮山 雅則



教育長 旧八千穂中学校北校舎を見学できる場所として検討しています。

は必要ではないか。

教育長 文化財や資料、地域文化の承継を進めて行くことは非常に重要であります。郷土資料館の必要性を含めて、所蔵展覧する動線を確保し、見学できる場所として検討し、計画を立てています。文化財が後世に伝わるよう、

文化財の保管状況と郷土資料館

問 文化財は、10万点余りあるというがその保管状況は。

教育長 旧八千穂中学校北校舎に保管するための施設整備を行いました。その場所へ八千穂福祉センター等8か所に点在する文化財の移転を進めており、現在3か所の移転が完了していま

す。データ化も基本となるものは完了しています。

生涯学習課長 保管状況ですが、校舎全体にセキュリティを設置、見学ができるレイアウトの工夫、直射日光を避けるなど、保管に支障がないようにしています。

問 歴史や文化の保全、承継はもとより、学校教育や郷土への愛着を育むためにも郷土資料館



旧八千穂中学校での文化財保管

学校との連携や研究により整備を進めて参ります。

大規模降雨災害対策

問 想定最大規模降雨量1000年に1回の降雨に対応したハザードマップの作成、地域防災計画を修正とは。

町長 これまでの1000年に1回程度発生し得る降水量の洪水ハザードマップから、1000年に1回の降雨に更新する形で作成、千曲川本流の流域に限りませんが、令和2年度中の配布を予定しています。避難場所、避難方法、避難発令時間等も今までは異なりました。県が示した浸水予測では、千曲川を中心とした平坦部のほとんどが浸水であります。このことから、かなりの避難者が予測され、多くの避難場所の確保が必要となります。一人ひとりが事前に避難場

所を確認しておくことが今まで以上に大切になります。

問 新庁舎所在地付近も浸水地域にあるが、町の見解は。

町長 浸水想定は20メートルです。この新庁舎は水没となります。このような降雨予想があった場合は、対策本部を茂来館へ変更しなければなりません。茂来館には既に防災行政無線が設置されており、今年度は非常電源装置を設置します。

問 河川の改修や整備について

町長 今後県に対し、氾濫による危険性が高い区域の河川整備を要望していきます。また、水位計や河川監視カメラの設置など、洪水の可能性を早く察知できるようなシステムの導入を目指します。

学校で感染者が発生した際の対応は

石井 正行



町長 フロリーチャートを作成し対応を進めております。

コロナ対策について

問 学校で、り患者が発生した際の対応及び周知は。

教育長 9月4日、児童・生徒及び職員が感染者、あるいは濃厚接触者になった場合の初動対応についてのフローチャートを作成し、対応の遅れがないように学長に指示をいたしました。状況は日々変化してまいります。保護者の皆様とは常に情報の共有に努め、今後も感染予防と教育機会の確保の両立にしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

問 県外ナンバーの車に乗っている人に「長野県民ステッカー」の無料配布を。

町長 現在は、交通安全協会と観光係が在庫を確保し、希望者には無料で配布を行っています。



長野県在住の専用ステッカー

考えの中で、やる方向で検討します。

問 今年度の「高齢者インフルエンザ予防接種」事業は、インフルエンザ定期予防接種の自己負担額を無料に。

町長 ワクチン接種の主な委託先、医療機関と協議し、準備を進めており、10月からの接種開始を予定しています。

健康福祉課長 接種を無料化するためには、約380万円の予算が追加が必要となります。国・県・近隣市町村の動向を見ながら、必要性と費用対効果のほうを検討してまいりたいと考えております。

問 佐久穂町新型コロナウイルス感染症対策本部進捗状況について。

町長 感染症対策本部の会議開催については、国や県の動きと佐久地域の状況により随時開催をしています。新型コロナウイルスは人から人へ感染し、町民の誰であっても感染リスクがあります。町内で新たな感染者がいつ発生しても、迅速に対応できる本部体制をこれからも組んでまいります。

私のひとこと 患者、感染者、医療関係や福祉施設等で治療等に携わっている方々、交通機関や物流など、町民生活の維持に必要な業務に従事されている方々やその家族に対し、不当な差別的取扱いや誹謗中傷を行わないよう呼びかけていきたいと思

顕在化した不適切業務への対応は

井出 正臣



副町長 上申書に基づき調査し、審査委員会これから判断します。

佐久穂教育

問 新教育長として佐久穂教育をどのように解釈し、管理指導を進めるのか。

教育長 推進してきた佐久穂教育を理解し、今後大切にしていきます。そのために積極的に現場に向き、課題を共有し具体的に対応していく所存です。



教育長答弁の様子

千曲病院の経営再建

問 経営状況の厳しい千曲病院において再建計画をどのように考えるか。また、経営責任は誰にあるか。

町長 責任は町長にあります。千曲病院の現状での専門医不足は危惧しており、院長を中心に職員が病院の方向性を検討し、経営審議会等の意見も伺いながら、最終的には私が判断すべきと考えています。

問 経営審議会のみでなく、新しい審議体制などを考え、スキー場以上に病院経営に對してメスを入れるべきではないか。

町長 相当なことを考えていかなければいけない重要な施策であると考えています。

景観行政団体

問 一昨年6月議会で景観行政団体を目指すと答弁があったが、今後の業務行

町長 現在は県の景観計画が適用されて

問 各種ハラスメントや業務執行上の手続不備などにどのように対応しているか。

町長 事務処理の不備やハラスメントなど議場で論じられることが、町民の皆様

に申し訳なく、心から恥ずかしいと思います。私の初期対応の問題があります。危機管理能力があまりにも低いと言われても仕方のない状況です。

終わってひと言 千曲病院は以前のスキー場以上に危機的な経営状態にあり、財政に与える影響が大きい状況です。民営化も含めた抜本的な改革が必要であると考えます。役場職員のパワハラ、説明のない独断的な予算執行も明確に存在し問題であります。これを看過せず指摘するのが議員の仕事です。住民の皆さんは是非これまでの議会や議員の仕事をチェックしてください。

「コミュニティ創生戦略、修正が必要では

倉澤 治貴



町長 最新の知見を取り入れていきます。

まちづくりの総合方針について

問 町の基本計画である「コミュニティ創生戦略」について、3月定例議会においても、5年の節目を迎えるにあたり、その効果の検証状況を質問したが、台風19号災害、及びコロナ禍という社会情勢の変化に伴い、今後の方向性に修正や変更が必要では。

「コミュニティ戦略は絆を深めようとする施策と認識している。コロナ感染防止の観点から、3密を避けよう」とのこと相反する事象と考えられる。また台風19号災害から、自助・共助の大切さも再認識した。第二次コミュニティ創生戦略の策定方針は。

町長 事態の推移を注視しながら総合計画を中心とした計画行

政の継続が可能か見極めていく、と先の議会で答弁しています。正しく怖がり正しく用心することとは必要なことだが、今まで積み上げてきた取組を全て変えるのではなく最新の知見を政策判断に取り入れながら進めていきます。

問 総合計画は人口減少にプレ-キをかけることが本来の目的では。

若者の流出防止、定住、移住者へのアピールが必要。そのためのコンセプトは大事では。

問 コロナ禍によって社会情勢、生活や働き方が変わりつつある中で、時代の流れをつかんだ新しい戦略が必要では。

町長 若者の定住、女性が暮らし易い町、テレワーク、ワーケーションといった働き方、居住を提供できる政策を盛り込むべきでは。

町長 人口減少は全国的なもの、そのパイを奪い合うのではなく、住み慣れた地域で安心して暮らせる施策とともに、住んでみたい町を推進することも今後視野

営みが奏でる未来のふるさと」は町全体を見渡したときのキャッチフレーズで今も健在。コミュニティを全面に打出し、住みやすさ、暮らしやすさを求めているという考えが基本方針、人口ビジョンに掲げた目標を達成するために試行錯誤しながら近づこうとしています。

町長の考えるいい町・住みよい町とはどんな町なのか。今後の総合計画で示していきたい。

に入れる必要があると考えます。



第2期佐久穂町コミュニティ創生戦略 QRコード



第2次佐久穂町総合計画 QRコード

奨学金の返済に補助を

須田 良子



教育長 近隣での取組や成果、国・県の助成制度など研究したいと思います。

地域公共交通の改善について

問 広域での地域公共交通サポート事業の現状は。

町長 既存バス路線の現状・課題を診断するカルテを作成し、地域ごとに公共交通の最適化に向けた検討を行うものです。当町は該当路線がありませんが市町村パートナーは作成提供される予定です。

問 町独自の取り組みとして、141号線沿いに乗り継ぎ場を置き、げんでる号に繋げることはできないか。

総合政策課長 直行便に関して車両の関係、様々なシステムの関係、運転手の確保の問題等でなかなか進まない難しい状況となっております。

問 南牧村では小海分院、ナナースなど村内各所への送迎を社協の包括支援センターに前日申し込むと無料で行ってくれますが、当町でも行ったらどうか。

健康福祉課長 うちの町でも、社協さんに事業委託してある福祉有償運送があります。町内であれば片道500円、小海、佐久市であれば片道1000円でご利用いただけます。

問 長和町の社協で取り組んでいる「なっちゃん便支え合いサポート事業」。



長和町「なっちゃん便」キャラクター

問 長和町の社協で取り組んでいる「なっちゃん便支え合いサポート事業」。

問 大学の奨学金の返済の補助について町内への定住を支援する対策として、小海町では平成30年度から奨学金の返済金額に対し、補助金を交付しています。卒業後小海町へ定住、U・ターンした方が対象です。佐久管内へ就職した場合、2分の1、小海町内へ就職した場合3分の2、看護師、保健師、介護福祉士で佐久管内へ就職した場合4分の3が補助される、4年間に借りたものを8年間で返済できるものです。佐久穂町では返済に対し支援はあるか。

若者の定住対策への取り組みについて

教育長 補助については具体的に検討しておりません。若者の人口流出を防ぎ、定住の促進を図るための近隣での奨学金を活用した取組や成果、国、県の助成制度などについて研究をしたいと思っています。

新庁舎開庁にあたり今後の姿勢は

高見澤 春野



町長 外からの力に学び、住民とつながり、今まで以上に住民サービス向上に努めます。

問 新庁舎開庁にあたり新たに取組もうとすることは。

町長 新庁舎をいかに有効に使うか、大切に使うか考えます。今まで以上に外に出て住民とつながる外の力と呼び込み、職員と一緒に住民サービスを今まで以上に向上させるよう努めます。

問 旧庁舎の今後は。

総務課長 来年度早いうちに旧佐久庁舎の南棟を壊し、駐車場の整備をし駐車スペースの確保を図ります。

問 住民と町長がお互い顔の見える環境にするため、職員のフロアに机を置いて町長室と使い分けての執務は出来ないか。

町長 検討させていただきます。

町民に親しまれる庁舎のために

問 職員の町民と向き合う姿勢をどう考えるか。

町長 必ず挨拶をすること、穏やかな心で接すること、喜んでサービスをし絶対に上から目線にならないことを最も大切なことと考えます。

問 案内役を配置すること。外にベンチを設置することは考えられないか。

総務課長 職員一人一人が来客者に御案内するという意識が大切です。外のベンチは必要だと考えています。

問 子どもが安心して歩ける通学路のために庁舎周辺の見通しをよくする手立て

が早急に必要では。

総務課長 旧庁舎解体後に新たな歩道を設置するので子どもや歩行者の安全性も確保できると思います。停止線やカーブミラーの設置は安協や公安と打ち合わせながら進めていきたいと思っています。

問 庁舎周辺の外気温の上昇が心配では。

総務課長 過去10年間の平均気温をみると大きな差はなかったです。温暖化で今後の夏も暑くなりそうなので住民の皆さんの生活に支障が出るとなれば周辺住民の方々と対策していきます。

問 駐車場の案内表示が中途半端で利用者には不親切では。

総務課長 矢印の誘導どおり八十二銀行方向に進み庁舎前から空いている駐車スペースに駐車いただくようになっていきます。駐車後は商工会側に進行し北側、南側に出る流れで作ってあります。

問 職員の方が庁舎のひさしの下を駐輪場になっているが、そこに駐輪してあれば住民の方も置きます。新設の駐輪場を利用促進し職員は裏側に駐輪すべきでは。

総務課長 雨ざらしというわけにもいかないので軒のあるところが良いだろうと置いていきます。

意見 利用する方たちが気持ちよく使えるようちょっとした気遣い、目のつけどころを意識してほしいと思います。

しらかばちゃんが解説！

子どもにも わかりやすい

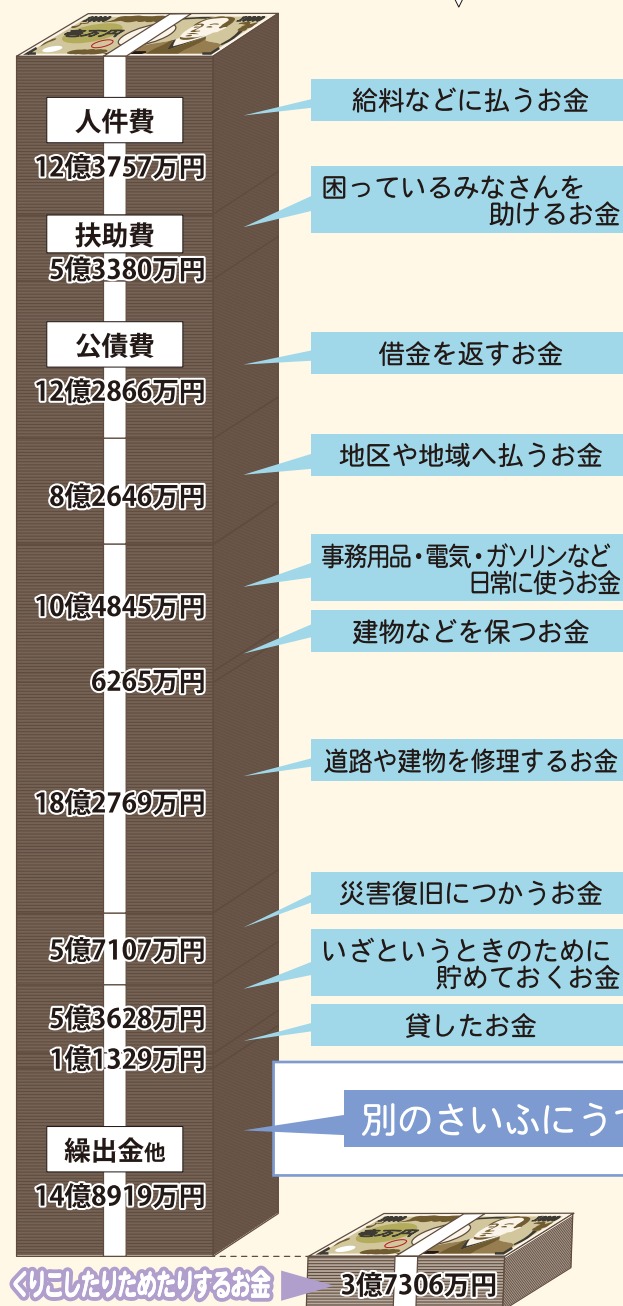
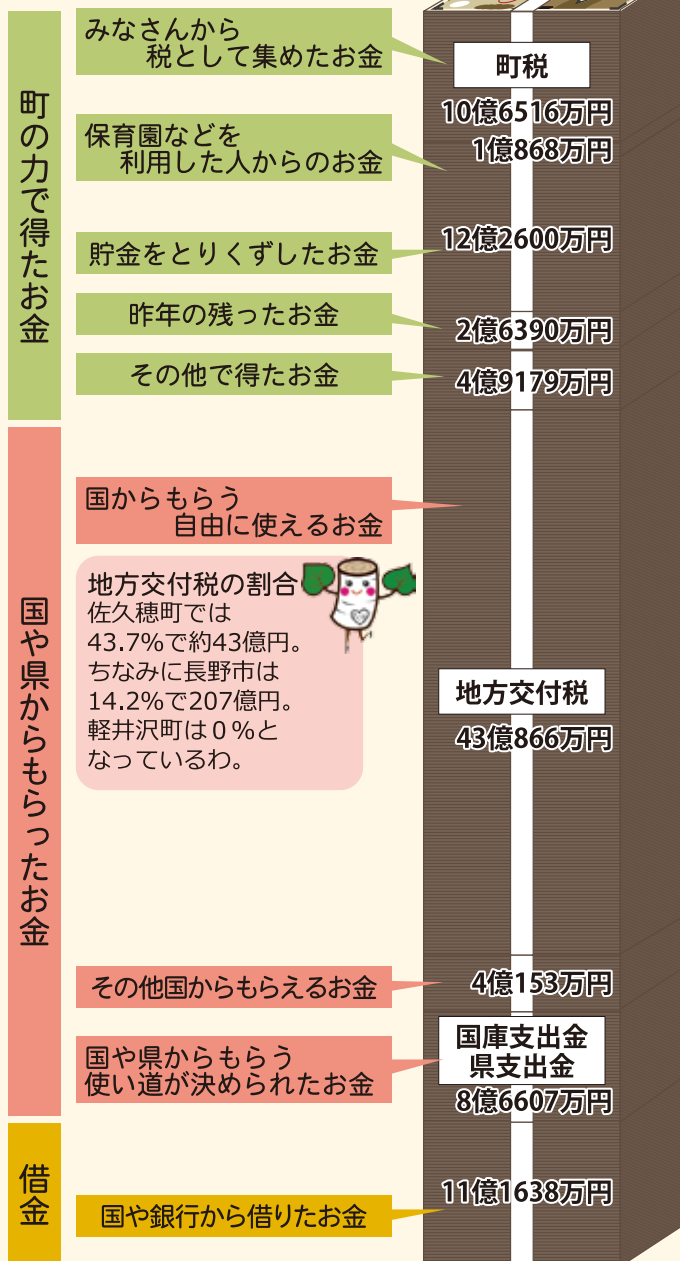
さくほのお金

入ってきたお金
98億4817万円

ふつうの
さいふ

一般会計

使ったお金
94億7511万円



くりこしたりためたりするお金

令和元年度
決算

令和元年度決算の詳細につきましては
広報さくほ10月号P7又は佐久穂町ホームページ
(<https://www.town.sakuho.nagano.jp>)をご覧ください。



QRコードを 使うには？

App Store か google playからQRコードリーダーをダウンロード♪
そのアプリでコードを撮って!

気になる佐久穂町の

借金と貯金

(一般会計) 令和2年3月末時点

借金（町債）
49億4527万円

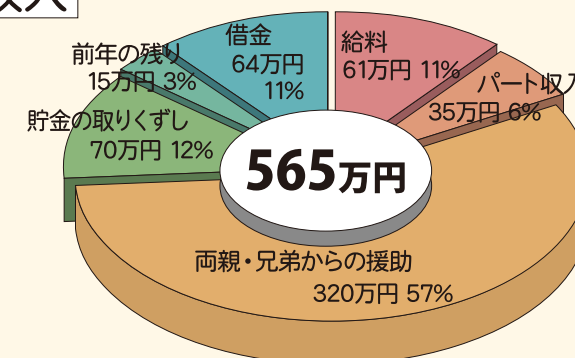
貯金（基金）
69億9637万円

(町民1人あたり)
約45万5407円

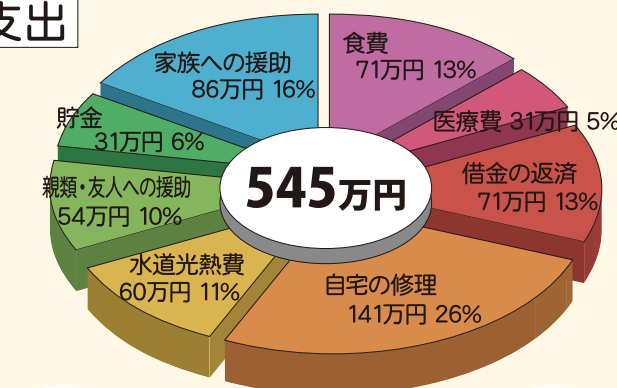
町民1万859人で計算

(町民1人あたり)
約64万4292円

收入



支出



借金残高
284万円

(令和元年決算時)

貯金残高
402万円

専用のさいふ

特別会計

スキー場のさいふ

令和元年度で最後

① 1 億4929万円

④ 1 億4929万円

(スキー場譲渡に関わる清算)

他にも7つの専用
さいふがあるのよ

千曲病院専用のさいふ

収益的 (入) 15億8910万円
(出) 16億 477万円

資本的 (入) 1億 329万円
(出) 2億 111万円

老人保健施設専用のさいふ

(入) 3億9888万円
 (出) 3億8492万円

■ 経済福祉 常任委員会

審議案件は、一般会計ほか介護保険特別会計の令和元年度歳入歳出決算の認定案件を始め、専決の補正予算及び補正予算案など計15件と、条例改正案など3件、発議2件を審議しました。

委員会は9月10～11の2日間にわたり、産業振興課、健康福祉課、建設課及び老人保健施設並びに千曲病院の説明を受け審議の結果、全案件を原案通り可決承認致しました。

病院事業の補正予算

新型コロナウイルス感染症対策関連で2件の補正予算が上程されされました。この補正により千曲病院では、軽症の新型コロナ感染者の受け入れ病床2床が整備されると共に、新型コロナウイルスの抗原検査の検査体制が整備されます。

問 新型コロナウイルスの感染患者の受け入れは、現在の職員体制で受け入れ可能か。

答 保健所との協議で受け入れは軽症者で且つ短期の受け入れとなるので、師長以上で対応します。

問 抗原検査を町内だけでなく南佐久や佐久市へもPRし、検査数を増やせないか。

答 当面は町内を優先し様子をみてPR等についても考えます。

問 新型コロナウイルスの抗原検査は、いつから検査可能になるのか。

答 9月28日から実施 possible の予定です。

産業振興課関係では

昨年4月の筆岩の山林火災復旧事業では、本年度中に私有林と町有林の伐採を終了し、来年度には広葉樹の植林により、山林を復旧する予定です。尚、伐採した被災木は塩尻市にある木質バイオマス発電「Fパワー」で利用すべく、現在は道の駅予定地に仮置きし日々出荷しています。



出荷を待つ伐採された被災木

また、町は平成30年度で八千穂高原スキー場の経営を終了し、(株)アドバンスが経営を引き継ぎました。町はスキー場の安全経営を確保する為の、施設改修工事費1億4929万円を繰り入れ、索道事業特別会計を終了しました。

台風19号の災害復旧事業を視察

建設課の委員会審議に先立ち、台風19号災害の復旧工事箇所を視察しました。今回は、曽原ため池、うその口の岩棚橋ほか2か所の復旧状況を視察しました。



復旧した曽原ため池と水路

老健施設及び社協の避難所機能を増強

一般会計及び老人保健施設特別会計の補正予算では、社協「はなの里ふれあい」と老人保健施設の避難所としての非常用電源（発電機）の能力が増強されます。この補強により老人保健施設では非常時に概ね50時間電気の供給が確保されます。

介護保険の給付も年々増加。

介護保険特別会計の令和元年度決算は、歳出総額が13億8938万円となり、対前年度比+4499万円増加しました。増加要因は保険給付費が対前年度比103.6%の+4580万円となりました。

問 保険給付費増加の原因は。

答 要介護者数は概ね横ばいですが、施設系介護が対前年度比113.4%の+5758万円となったことです。これは独居老人や老々介護による家庭介護力の低下が原因と思われます。

問 介護予防事業費も増えているが。

答 新たに介護予防拠点活動支援事業に16地区が取り組んだことなどで増加しています。

問 来年は介護保険料の改定の年となりますが、保険料UPを避けられないか。

答 現在、予想経費の算定作業を進めています。

委員会活動から ～委員会審査～

■ 総務文教 常任委員会

認定案4件、議案3件、請願2件が付託され、全付託案件は原案どおり認定、可決、採択されました。

○令和元年度佐久穂町一般会計歳入歳出決算の認定について

総務課

問 避難施設耐震診断結果を受け今後は。

答 診断した集会場棟すべてが耐震基準を満たしてなく、地区の所有物であるので、町の地区集会所建設補助金（大規模修繕）で対応できないか検討をしています。

問 災害用備蓄品入れ替えについて。

答 非常食については備蓄期間が約5年で更新ですが、地区の防災訓練で非常食とはどんなものかとして試してみたい要望のあった地区には利用できるものは提供しました。（乾パン、アルファ米等）再利用できる物は再び利用します。（毛布はクリーニングで再利用）

生涯学習課

問 生涯学習館管理事業の今後コロナ渦では。

答 今後は茂来館避難600人を想定し受け入れを考えなければならず、パーティション50組（50×4人）で室内200人。駐車場に避難予定として、150台分確保し450人、合計650人のシュミレーションをしています。

要望 町が指定している文化財（石棒）の管理を。

答 保存方法として3つの提案があります。

- ①現状のものを修復して使用
- ②屋根をかける
- ③現地にレプリカを作り、本物は収蔵館に保存



北沢の大河石棒

住民税務課

問 年に1回家電リサイクルを町で代行できないか。

答 通常、町では取り扱っていません。家電販売店又は廃棄物処理業者へ直接お願いして頂くことになります。

こども課

問 遊具の改良とは。

答 毎年実施している遊具安全点検結果に基づき、計画的に不良箇所等の整備をしています。昨年は海瀬保育園で、すべり台のすべり面を暑さ対策の為、ステンレスから繊維強化プラスチックに、八千穂保育園では老朽化の為、複合遊具を更新しました。



八千穂保育園の新しい遊具

総合政策課

問 水力発電事業の進捗状況。

答 今年の秋から工事に着手する予定でありました。電力会社との調整の中で当初提示されていた金額が大幅に増額になったことから、工期や資金計画について見直しを進めているところであり、工期は遅れる予定になっています。今後も会社とは連携を取りながら進めていきます。

○令和2年度佐久穂町一般会計補正予算

総務課

問 千曲川花火大会とは。

答 台風19号被害に遭った千曲川沿線の市町村が同時刻に一齐に打ち上げる予定です。

生涯学習課

問 図書館予約システムとは。

答 コロナ対策、サービス事業として、ネット上で取り置きするシステムです。

こども課

問 ルーター60台の運用方法は。

答 ICT支援員を中心に、運用方法について検討しています。災害など学校臨時休業時にも、学習が途切れることなく家庭学習できるよう整備するものです。

総合政策課

問 地域おこし協力隊ポケットWi-Fi等すべて活動費として国から補助されるか。

答 すべて特別交付税400万円の中から払われます。



佐久穂中学校 生徒会

『佐久穂中学校生徒会コミュニティ』

できた!! コロナに負けない「樺松祭」

生徒会長 渡邊 葵
副会長 高見澤 伸
副会長 青木 姫由

がんばる さくほの チヨ-民



9月18日(金)に佐久穂中学校「樺松祭」が開催されました。今年はこのコロナ禍において異例づくめの開催にも関わらず、生徒会長の渡邊さんをはじめとする生徒会役員のアイデアと実行力で、例年開催に匹敵するほどの満足感が全校生徒の中にあつたようです。今回は生徒会役員を代表して3役の生徒さんにお話をお聞きました。

■コロナ禍の中での樺松祭を終えて思うことは?

渡邊 一日開催が決定したときは残念な気持ちしかなかったが、全役員が一丸となり2日分の力を入れて、全校がコロナの前と同じくらい楽しめるような企画を考えて開催できたことは、大変だったけれど私たち3年生にとって最後にふさわしい「樺松祭」ができたと思います。

高見澤 二年前の先輩から引き継いでいる「くじ引き君(写真参照)」というキャラクターが



いるんですけど、くじで当たった人はクイズに答えたり、感想を発表してもらったりして、当選した生徒の周りが凄く盛り上がりていました。ただ役員が当たっちゃったことは誤算でした。
青木 オープンステージがあるんですが、今年はコロナの影響でステージに10人しか上がっちゃいけないという制限がありました。

渡邊 体育的企画の綱引きもソーシャルディスタンスを守って

選抜メンバーで実施しました。
青木 音楽会も学年合唱がなくなり、クラスのみで合唱でした。

■コロナ禍での学校生活の課題や対応は

高見澤 佐久大会とかが無くなり、4チームぐらいが集まって交流試合は行われたんですが、試合が終わると後輩への引継ぎとかで、去年は大号泣だったんですけど今年はサッと終わりました。

青木 美術部は文化祭のステージバックを作って文化祭が終われば引退。でも例年だと写生大会があつて美術館とか行くんですがそれは中止になりました。

■7コマ授業はどうだった?

渡邊 1コマ1コマは集中できるんですけど、7コマあると1コマの時間は短縮でも、気持ちの問題でちょっと疲れました。

■引退後のことは決めている?

高見澤 バスケを続けたいのでバスケ部のある高校に進学したいです。

渡邊 学びたいことがあつて高校までは決まってるんですけど、その先はまだ決まっていま

せん。

青木 自分の好きなことを仕事にできるなんてほんの一握みじゃないですか。だから普通に高校に行つて、それから考えようかなって思っています。

■自分が大人になるころにこの小中学校がどうなつていてほしい?

高見澤 自分は西小出身で閉校を経験しているので、一番はこの学校が残つていてほしいです。
渡邊 綺麗なところであつてほしいです。例えば生徒会の四本柱に清掃が入っているんですが、それをずっと続けてもらって綺麗な学校でいてほしいです。

青木 もっと見学とか職業体験をいっぱいして、自分の進路のために必要なことを体験できる学校であつてほしいです。

■統合小中学校の5年間を振り返つて

渡邊 友達がすごく増えました。
青木 小中で交流があるので、小学校の友達とかもできたりします。

高見澤 小1の子たちがベランダにいて、話しかけたのがきっかけで仲良くなって、見つけるとじゃれついてきたりしてすごく楽しいです。

■顧問の先生からひと言

3人ともチームワーク良く活動をしています。今回文化祭に關してもセクションに分かれて動いて、協力して進めてくれました。生徒の感想を見ると「1日開催だったけど2日分楽しめた」「2日分に匹敵する」というコメントも沢山ありました。色々と制限をされている中での開催であつたが、その中で出来ることを考えて精一杯やっていったと思います。



(聞き手 島崎規子)

◆編集後記◆

毎年決算認定のある議会だよりは、中学校の社会の授業の教材としてもらうために9年生全員に配布しています。さらに今回は中学校の生徒会にもインタビューをさせてもらいました。明日を担う佐久穂の子どもたちを議会だよりで取り上げることができ、うれしく思います。

広報編集調査特別委員長 西部 元和